

平成28年度 港北区地域ケアプラザ事業実績評価

【評価の考え方】

評価	内 容
S	特筆すべき実績・成果が認められ、事業の実績が優良な施設
A	事業の実績が良好であった施設
B	改善の必要性が多数認められ、事業の実績が良好でない施設

施設名	指定管理者名等	評価	評価内容
新吉田地域 ケアプラザ	(福)横浜共生会	A	(地域活動・交流) 自主事業の工夫により、男性の福祉保健活動への参加を促すなど、新たなボランティア発掘に取り組んでいます。
			(地域包括支援センター) 徘徊高齢者見守りネットワーク（さがしてネット）のメール配信や模擬訓練において、引き続き地域の福祉保健活動の支援に取り組んでいます。
篠原地域 ケアプラザ	(福)横浜市社会 福祉協議会	A	(地域活動・交流) 高齢者の分野だけでなく、地域と連携しながら子育て支援に関する事業を実施しています。また、幅広い情報を広報紙で発信することで、様々な世代が利用するよう施設の周知に取り組んでいます。
			(地域包括支援センター) 区内ミニデイサービスの活動支援を通じて、エリア内の介護予防活動の普及啓発に取り組んでいます。
高田地域 ケアプラザ	(福)緑峰会	A	(地域活動・交流) 地域の活動団体と良好な関係を築きながら、団体間のネットワークづくりに積極的に取り組んでいます。また、これらの団体、関係機関と連携しながら地域のニーズに合わせた幅広い分野の事業を実施しています。
			(地域包括支援センター) 認知症キャラバン・メイトとの連携により「認知症カフェ」を立ち上げるなど、認知症の啓発、理解促進に工夫しながら取り組んでいます。また、生活支援体制整備事業では、独自のアンケート調査を実施し、地域資源の把握から活動の場の確保や老人クラブの活性化に取り組ましました。
下田地域 ケアプラザ	(福)横浜共生会	A	(地域活動・交流) 地域活動交流部門と地域包括支援センターとの情報共有が密に図られるとともに、地域の小中学校との福祉活動への理解促進や区・区社協との協働などに積極的に取り組んでいます。
			(地域包括支援センター) 地域の課題把握に積極的に取り組み、独自のアセスメントシートを作成、分析を進めています。また、出前型の介護予防教室や出張健康教育に継続的に取り組み、地域住民の介護予防活動参加者が増えています。

施設名	指定管理者名等	評価	評価内容
大豆戸地域 ケアプラザ	(福)横浜市福祉 サービス協会	A	(地域活動・交流) 区職員との情報交換を通して地域課題解決に向けた検討を実施し、支援が行き届かない地区への事業展開にも取り組んでいます。また、地域のニーズや実情に合わせた講座開催において、参加者同士の交流支援に取り組んでいます。
			(地域包括支援センター) 相談票やケアプランから地域実態の把握・統計分析に取り組むとともに、認知症の理解・啓発、認知症予防に関する取組に力を注いでいます。
樽町地域 ケアプラザ	(福)横浜共生会	A	(地域活動・交流) 地域活動団体との良好な関係づくりを意識し、地域情報の把握ができています。また、近隣小中学校との連携による福祉理解の啓発や地域のニーズに対応した子育て、障がい者支援事業に取り組んでいます。
			(地域包括支援センター) 高齢者人口の多い大規模な圏域において、出張相談を実施することにより、相談しやすい環境づくりに取り組んでいます。また、地域の認知症キャラバン・メイトの自主活動化に向けた取組を進めています。
城郷小机地域 ケアプラザ	(福)秀峰会	A	(地域活動・交流) 地域活動交流部門と地域包括支援センターとの連携を軸に地域資源と協働するなど独自の取組を進めています。また、地域福祉保健計画の推進においても各職種が積極的に関わっています。さらに自主企画事業でも多くの分野で地域のニーズに合わせた事業を展開しています。
			(地域包括支援センター) ケアプラザ内の職種間の連携により、地域課題の分析や地域ケア会議を効果的に開催しています。また、関係する活動団体とのネットワーク構築や連絡会等の交流を進め、共通の課題解決に取り組んでいます。
日吉本町地域 ケアプラザ	(福)緑峰会	A	(地域活動・交流) 出張相談等から積極的に地域ニーズを把握、共有し、地域課題の解決に取り組んでいます。また、子育て支援事業をはじめ、幅広い分野の事業を展開しています。
			(地域包括支援センター) 地区特性やデータを詳細に分析し、課題を抽出してエリアごとの特性に応じた介護予防事業を展開しています。また、ボランティアの育成や自主活動グループの立ち上げ・フォローアップにも丁寧に取り組んでいます。
新羽地域 ケアプラザ	(福)横浜共生会	A	(地域活動・交流) 地域の福祉活動団体との関係づくりに力を入れ、地域内の福祉施設とのネットワーク構築にも取り組んでいます。また、高齢、障がい、子育て支援など幅広い分野での自主事業を実施しながら、地域ニーズの把握も行っています。
			(地域包括支援センター) 開所後の施設周知に取り組んだ結果、地域における認知度も確実に向上し、昨年度より相談件数も増加しています。「認知症カフェ」を定期的に開催するなど、認知症理解の普及啓発に積極的に取り組んでいます。